

肝動脈塞栓術の治療を受けられる方へ

◆ 私たちは、入院生活や治療が順調に進むよう下記に下記の計画に基づき援助します。

		お名前		様		主治医		受持ち看護師		棟 階 看護師一同	
日付	入院前日までに	入院当日(手術前日)		手術当日		術後		術後1日目		術後2日目	
		月 日 ()		月 日 ()		月 日 ()		月 日 ()		月 日 ()	
目標 退院 基準	治療の内容について理解できる	治療に対する不安の訴えがない 説明内容に疑問がない	治療に対する不安の訴えがない 説明内容に疑問の表出がない	医師者の指示通り安静にできる 穿刺部に発赤・腫脹・熱感・疼痛・出血がない 腹痛が軽減する 副作用の症状がない(吐き気がない) 転倒予防行動(安定した歩行するために注意した行動)が実施できる	体温37.5℃以上の発熱がない 穿刺部に発赤・腫脹・熱感・疼痛・出血がない 腹痛が軽減する 副作用の症状がない(吐き気がない) 転倒予防行動(安定した歩行するために注意した行動)が実施できる	体温37.5℃以上の発熱がない 腹痛が軽減する。副作用の症状がない(吐き気がない) 転倒予防行動(安定した歩行するために注意した行動)が実施できる 退院後の生活に対する不安の訴えがない	体温37.5℃以上の発熱がない 腹痛が軽減する。副作用の症状がない(吐き気がない) 転倒予防行動(安定した歩行するために注意した行動)が実施できる 退院後の生活に対する不安の訴えがない	体温37.5℃以上の発熱がない 腹痛が軽減する。副作用の症状がない(吐き気がない) 転倒予防行動(安定した歩行するために注意した行動)が実施できる 退院後の生活に対する不安の訴えがない	体温37.5℃以上の発熱がない 腹痛が軽減する。副作用の症状がない(吐き気がない) 転倒予防行動(安定した歩行するために注意した行動)が実施できる 退院後の生活に対する不安の訴えがない	体温37.5℃以上の発熱がない 腹痛が軽減する。副作用の症状がない(吐き気がない) 転倒予防行動(安定した歩行するために注意した行動)が実施できる 退院後の生活に対する不安の訴えがない	定期受診をする 発熱・腹痛時に病院へ連絡し 相談できる
検査								採血があります		採血があります	
処置		体重を測ります 両足の甲の動脈に血液の流れを確認するため、印をつけます	体重を測ります(毎日 朝) 6時に検温があります	針を刺した所の出血がないか、 腹部の痛みがないか確認します。 体温・血圧測定を行います(適宜)	6時、14時に 検温があります					針を刺した所のガーゼを外します	
注射		点滴をします	点滴をします 抗生剤の点滴があります	点滴をします	抗生剤の点滴があります			本日分の点滴終了後、 針を抜きます			
内服薬	医師の指示に従って下さい	薬剤師が、常用薬の確認を行います。 通常通りに内服可能ですが、血糖降下薬、抗凝固薬は別途中止の指示がある場合がございます。	看護師がお渡しした薬を 6時に内服します。 その後は中止です	指示されたもの以外中止です		食事が開始されたら内服も再開となります。医師の指示が出ますので、指示に従ってお飲み下さい 中止薬 () は / から再開します					主治医の指示に従って下さい
食事水分	バランスの良い食事を心がけて下さい	病院食が出ます 21時以降は、食事は食べないでください。 水分は水・お茶のみにして下さい	水分は6時以降 飲めません。 1日中食事は 食べられません	病室2時間後から水を飲むことができます		朝食から 食べられます				制限はありません	治療に伴う制限はありませんが、バランスの良い食事を心がけて下さい
活動	安静度	制限はありません	制限はありません	なるべく病室で過ごして下さい	原則、ベッド上安静です。 針を刺した所から出血する可能性があります。刺した方の足は真っ直ぐにした状態で、動かさない、許可があるまで、起き上がらないでください。 3～5時間後以降、医師からの許可があれば歩行可能です。最初にトイレに歩く時は、 看護師が付き添いますので、必ずナースコールを押してください。 翌朝までは室内のみに止めてください。	お一人でふらつき無く歩ければ、 病室内は自由 に歩けます			制限はありません	制限はありませんが激しい運動は次の外来までは避けて下さい	
	排泄	制限はありません	制限はありません	午前中に尿の管を入れます	尿の管が入っています。 (医師の許可があれば管を抜きます) ベッド上安静の期間は、排便の際は差し込み便器を使用してベッド上で行ないます	尿の管を抜きます			制限はありません		
	清潔	制限はありません	シャワー浴が出来ます			身体を拭いて着替えます (看護師がお手伝いします)			シャワー浴が出来ます		退院後一週間はシャワー浴として下さい
教育 説明 その他		入院後に看護師から、治療や処置などの流れについて説明があります。 【必要物品】 テーブ式オムツ 1枚 ストローまたは吸い飲み 病衣のレンタル(有料)をお願いします 【肝動脈化学塞栓術】 肝細胞癌を栄養する動脈血流を遮断し、癌組織を壊死させる治療法です。右鼠径部から管を入れて行ないます。	浴衣に着替えてください 下着は着けないでください 順番になりましたらお声をかけます。 入れ歯・眼鏡・時計等金属類を外し 、ストレッチャーで治療室へ行きます。 貴重品は金庫で保管 してください。	発熱や痛み、吐き気などがあれば 我慢せずにナースコールを押してください 	退院日までに看護師から退院後の生活上の注意点を説明します			①食事、入浴に制限はありません。バランスの良い食事を心がけて下さい。 アルコール摂取は禁止です。 ②創部に負担のかかる行動、運動や、身体をねじるような動作は控えて下さい ③食事、飲み、運動で排便コントロールをつけましょう ④合併症として発熱、腹痛、出血、肝機能低下、胆嚢炎、肝膿瘍、 針を刺した側の足の血腫が出来る可能性があります。 以下の症状が続くようであれば、病院に連絡してください。 ・自宅で38度以上の高熱が数日続く ・腹痛が続く ・皮膚や眼珠の黄疸が出てきた ・意識がもうろうとして普段と違う事を言ったりする ・針を刺した部位が腫れてきた ・針を刺した側の足が腫れてきた又は冷たい	千葉大学病院連絡先：043-222-7171 (診察券を用意し、 「肝胆膵外科外来」または「消化器内科外来」 に繋いでもらってください)		

この説明用紙は、治療のおおよその経過をお知らせするものです。状態に応じて予定が変更になることがあります。ご不明な点がございましたら、お気軽におたずねください。